

様式(細則 5-2)

令和7年1月28日

浜田市議会議長 笹田 卓 様

議員名 芦谷 英夫

調 査 研 究 活 動 報 告 書

下記のとおり調査研究のため視察を行ったので報告します。

記

1、視 察 先 益田市 (益田駅前ビルEAGA)

2、視 察 事 項 「ANAあきんどの地域振興事業について」

3、視察の目的 (市政との関連など)

萩・石見空港を核とし、高速道路網をいかした観光の振興、
地域の活性化に向け、事業者としての取り組みなどの調査研究

4、期 日 令和7年1月27日 (月)

5、経 費 交通費 2,000円 (ガソリン代)

6、視察のポイント・議員活動や市政への反映など

詳細は視察内容 (所感) に述べているが、視察した事項につい
て、議会活動、政治活動の参考とする

7、視 察 内 容 別紙のとおり



「ANAあきんどの地域振興事業について」

令和7年1月28日

- 1 日 時 令和7年1月27日（月）15時30分～16時40分
- 2 場 所 益田市（益田駅前ビルEAGA）
- 3 講 師 ANAあきんど（株）取締役会長 菅谷 とも子
- 4 概 要

- ① 石見空港は、平成5年7月開港、羽田、大阪各1便が就航、平成14年愛称を「萩・石見空港」に、平成26年政策枠コンテストで羽田2便化、令和5年7月萩・石見開港30周年記念、来年度以降の羽田2便化、夏場の大阪便運行が決定、とたどっている。
- ② ANAあきんど（株）は、新型コロナ感染が始まった令和2年4月に設立し、旅客輸送、貨物輸送など航空セールス事業に加え、地域創生事業を新たに事業の柱として展開し7年4月には設立5年を迎える。社名の由来は「売り手よし、買い手よし、世間よし」の三方よしを社風とし、事業の推進、地域に寄り添う、地域と世界をつなぐ事業に貢献、としている。
- ③ イベントとして、全国で唯一空港を開放しての萩・石見空港マラソン全国大会を毎年10月に開催し17回目となる、ANAウインドサーフィンワールドカップを横須賀市津久井浜海岸で実施し、PRブース「極旨ジャパン」に昨年からは益田市が参加している。
- ④ 津和野でのライブ、津和野散策、園芸体験、農業体験、萩散策、神楽鑑賞など地元参加型イベントを実施しており、そのほか乗務員の地域での副業として産直イベント参加、地域のPR事業、株主ツアーのガイド、鉄道会社とのイベント、自然体験イベント、小中高生と民学連携、機体整備工場見学などを実施している。
- ⑤ 今年に入り「ANAのスピード輸送で実現！長崎県で水揚げされた鮮魚を当日のうちに首都圏のスーパーカスミ4店舗で販売」「鳥取県の魅力発信「うっとり鳥取ANA」から新企画を展開」「羽田から鳥取・米子空港へ！朝一便がお得なウェルカニキャンペーン」を実施、東京（羽田）－鳥取線、東京（羽田）－米子線の朝一便をご利用のお客様から、毎日抽選で各便1名様に鳥取県産ベニズワイガニをプレゼント！などを展開している。（これらは浜田市としても可能性があり事業化を検討すべきである）

5 所 感

- ① （質問）萩・石見空港の規模で、地元市民、経済団体、行政の取り組みで評価できる空港があれば紹介を⇒帯広、庄内、能登をあげられたが、これら先進例の取り組みを参考として広域圏としても活性化策を検討すべきである。
- ② （質問）萩・石見空港で観光客の増加などに向け取り組むべきこと、ヒントは何か⇒日曜日タクシーで浜田市に行ったが、飲食店は閉まっており外来客は困る。アクアだけが頑張っているが、これを取り込み人受け入れる体制が必要、特に食事のこと、飲食店のサービスの充実を、美都温泉の美人湯はよかった、などと指摘されたが、地域課題の鋭い指摘であり参考とすべき。
- ③ お話の中で山口北部、萩市、津和野、浜田市などのことに触れられたが、上記③④⑤のイベントやPR事業について広域的に取り組む必要がある。利用促進協議会が活動しているが、圏域全体の取り組みになっているのか検証が必要である。
- ④ 来年度は益田道路が開通し、人流、物流の促進が期待されるが、萩・石見空港と浜田道を含めた高速道路、空港へのチャーター便誘致、浜田港へのクルーズ船入港など圏域全体として連携して取り組む必要がある。

—以上—